

社会資本総合整備計画事後評価調書

平成27年2月

坂戸、鶴ヶ島下水道組合

坂戸、鶴ヶ島下水道組合社会資本総合整備計画事後評価調書

1 計画の概要

計画の名称	坂戸、鶴ヶ島下水道組合公共下水道事業
計画の期間	平成22年度～平成25年度（4年間）
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ①下水道処理人口普及率を64.9%から68.6%に増加させる。 ②西坂戸地区の管路施設における長寿命化整備延長率を0.0%から47.1%に増加させる。 ③下水道による都市浸水対策達成率を31.2%から32.5%に増加させる。 ④処理場における長寿命化計画策定率を0%から50%に増加させる。
計画変更を行った場合、変更内容の概要 (H25.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・A1-石-1 実績に合わせ、計画事業費を増額変更した。 ・A1-石-4 追加事業を見込み、計画事業費を増額変更した。 ・A1-石-5 追加事業を見込み、計画事業費を増額変更した。 ・A1-石-7 防災・安全交付金創設により平成25年度事業費を減額し防災・安全へ移行した。 ・A1-石-8 防災・安全交付金創設により平成25年度事業費を減額し防災・安全へ移行した。 ・A1-大-1 実績に合わせ、計画事業費を増額変更した。 ・C-1 実績に合わせ、計画事業費を減額変更した。
(H26.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・A1-石-6 実績に合わせ、計画事業費を増額変更した。 ・A1-北-1 実績に合わせ、計画事業費を増額変更した。

2 評価指標の最終目標値の実現状況（事業効果の発現状況）

（1）下水道処理人口普及率

評価指標の内容		下水道処理人口普及率を増加させる。		
定義及び算定式		（定義） 行政区域内人口のうち公共下水道を利用できる人口の割合 （算定式） $\frac{\text{下水道を利用できる人口（人）}}{\text{総人口（人）}}$		
指標を設定した理由		構成市内総人口のうち、公共下水道を利用できる人口の割合がどのくらいに達しているかをわかりやすく表すため。		
事業の発現状況	当初現況値（平成22年度当初）	最終目標値（平成25年度末）	実績値（平成25年度末）	目標達成状況
	64.9%	68.6%	69.3%	達成
	目標達成状況に対する所見	毎年度社会資本整備総合交付金が削減されている状況の中、面整備事業へ最優先で配分したことにより、最終目標値を上回る効果を達成した。		
将来の見込み		これまでどおり面整備事業の積極的な推進を図り、現事業計画の期限である平成32年度までに完了する見込みである。		
要素事業内容		計画	実績	備考
中央幹線		3.5km	3.5km	
汚水面整備（石井）		68ha	69.3ha	
汚水面整備（北坂戸）		2.5ha	2.5ha	

(2) 西坂戸地区管路施設の長寿命化

評価指標の内容		西坂戸地区の管路施設における長寿命化整備延長率を増加させる。		
定義及び算定式		(定義) 西坂戸地区内管路施設の長寿命化整備計画を策定した総延長のうち長寿命化整備済延長の割合 (算定式) $\frac{\text{西坂戸地区内長寿命化整備済管渠延長 (m)}}{\text{西坂戸地区内長寿命化整備計画管渠総延長 (10,600m)}}$		
指標を設定した理由		長寿命化整備計画を策定した管路総延長のうち、長寿命化整備済管路延長の割合がどのくらいに達しているかをわかりやすく表すため。		
事業の発現状況	当初現況値 (平成22年度当初)	最終目標値 (平成25年度末)	実績値 (平成25年度末)	目標達成状況
	0.0%	47.1%	17.0%	未達成
	目標達成状況に対する所見	工事の詳細設計を平成23年度に実施したことにより、工事の着手が延伸したこと、並びに事業を防災・安全に引き継いだ為、実績値は平成24年度までの整備計画における事業のみが対象であることから、目標の達成に至らなかった。		
将来の見込み		管路施設の未整備の部分については、平成25年度より防災・安全に移行し整備を促進しており、平成27年度までに長寿命化整備計画の管渠総延長の整備を完了する見込みである。		

(3) 都市浸水対策達成率

評価指標の内容		下水道による都市浸水対策達成率を増加させる。		
定義及び算定式		(定義) 浸水対策を実施すべき面積のうち浸水対策が完了した面積の割合 (算定式) $\frac{\text{浸水対策完了済み面積 (ha)}}{\text{浸水対策を実施すべき面積 (3,450ha)}}$		
指標を設定した理由		浸水対策を実施すべき面積のうち、浸水対策が完了した面積の割合がどのくらいに達しているかをわかりやすく表すため。		
事業の発現状況	当初現況値 (平成22年度当初)	最終目標値 (平成25年度末)	実績値 (平成25年度末)	目標達成状況
	31.2%	32.5%	32.9%	達成
	目標達成状況に対する所見	積極的な事業の推進を図り、さらに実施設計で延長等の変更があったため、最終目標値を上回った。		
将来の見込み		今後も着実に事業を推進し浸水対策達成率を増加させることにより、治水安全度の向上が見込まれる。		
要素事業内容		計画	実績	備考
雨水幹線整備 (飯盛川)		600m	693m	
雨水幹線整備 (大谷川)		329m	332m	

(4) 処理場長寿命化計画策定率

評価指標の内容		処理場における長寿命化計画策定率を増加させる。		
定義及び算定式		<p>(定義) 処理場における長寿命化計画を策定すべき箇所数のうち長寿命化計画を策定した処理場の割合</p> <p>(算定式) 長寿命化計画策定済みの処理場数(箇所) / 長寿命化計画を策定すべき処理場数(2箇所)</p>		
指標を設定した理由		長寿命化計画を策定すべき処理場数のうち、長寿命化計画策定済みの処理場数の割合がどのくらいに達しているかをわかりやすく表すため。		
事業の発現状況	当初現況値(平成22年度当初)	最終目標値(平成25年度末)	実績値(平成25年度末)	目標達成状況
	0.0%	50.0%	50.0%	達成
	目標達成状況に対する所見	石井水処理センターにおける長寿命化計画を策定したことにより、最終目標値を達成することができた。当計画の策定と推進により、処理場の計画的な改築・更新事業を行うことが可能となった。		
将来の見込み		<p>今後も引き続き、処理場施設の持続的な管理と延命化を図ることを目的とし、現行の第1期長寿命化計画を平成28年度までに完了させるとともに、第2期長寿命化計画の策定と実施を推進していく見込みである。</p> <p>なお、北坂戸水処理センターについては、施設の機能を石井水処理センターに継承する予定である為、長寿命化計画を策定する見込みはない。</p>		

3 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況

事業の区分	番号	成果 目標	要素事業名 事業内容	計画事業費（千円）		執行額 （千円）	進捗率 （％）	事業進捗 状況の概要	図面 No.
				当初	最終				所管課
A 基幹事業	A1-石-1	①	石井処理区污水管渠整備事業	1,486,000	1,900,000	1,693,521	89.1		1.2.3
			中央幹線整備 L=3.5km 面整備 68ha						建設課
	A1-石-2	②	西坂戸地区管路長寿命化事業	150,000	150,000	18,300	12.2	平成 24 年度までの実績 （平成 25 年度から防 災・安全に移行）	4
			L=5km						維持管理課
	A1-石-3	④	石井水処理センター長寿命化事業	7,000	7,000	7,000	100.0	平成 22 年度事業完了	5
			再構築基本設計（汚泥処理）						維持管理課
	A1-石-4	④	石井水処理センター長寿命化事業	40,000	60,000	31,090	51.8	平成 22 年度事業完了 （追加事業は防災・安全 に移行）	5
			（水）直流電源装置・UPS（更新）						維持管理課
	A1-石-5	④	石井水処理センター長寿命化事業	45,000	68,000	28,400	41.8	平成 23 年度事業完了 （追加事業は防災・安全 に移行）	5
（汚）直流電源装置・UPS（更新）			維持管理課						
A1-石-6	④	石井水処理センター長寿命化事業	6,000	31,000	30,330	97.8	平成 24 年度事業完了	5	
		再構築基本設計（水処理監視制御）						維持管理課	
A1-石-7	④	石井水処理センター長寿命化事業	6,000	0	0	0	平成 25 年度から防災・安 全に移行	-	
		再構築基本設計（汚泥処理監視制御）						維持管理課	
A1-石-8	④	石井水処理センター長寿命化事業	92,000	0	0	0	平成 25 年度から防災・安 全に移行	-	
		（水）中央監視制御装置 OPS（更新）						維持管理課	
A1-北-1	①	北坂戸処理区污水管渠整備事業	49,000	63,000	62,200	98.7		6	
		整備面積 2.5ha						建設課	

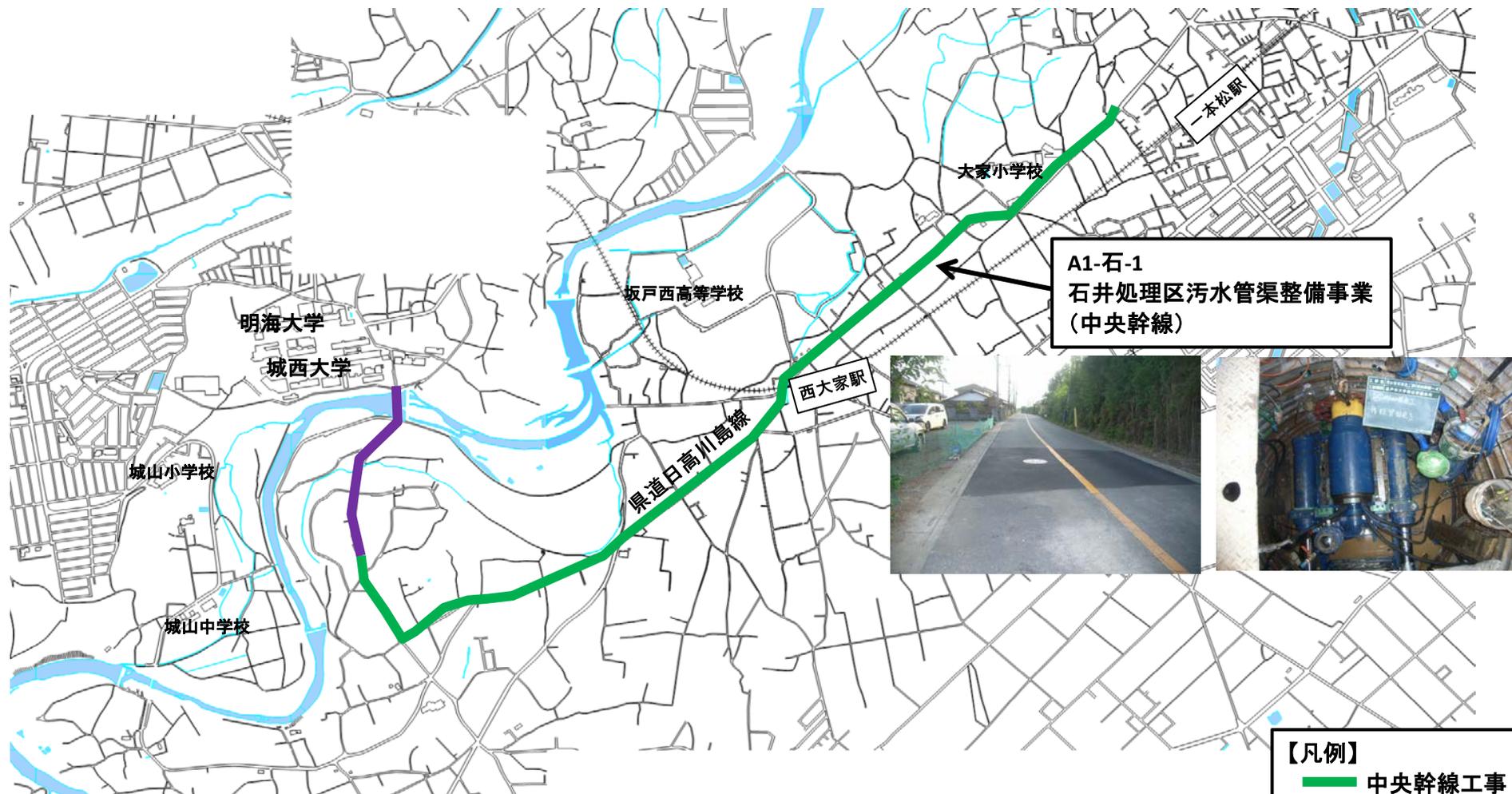
	A1-北-2	④	北坂戸水処理センター脱水機更新事業 脱水機設備、電気設備	166,000	166,000	166,000	100.0	平成22年度事業完了	6 維持管理課
	A1-飯-1	③	飯盛川排水区雨水管渠整備事業 雨水管整備 L=600m	215,000	215,000	143,500	66.7		3 建設課
	A1-大-1	③	大谷川排水区雨水管渠整備事業 雨水管整備 L=329m	104,000	130,000	125,300	96.4		3 建設課
	小計			2,366,000	2,790,000	2,305,641	82.6		
B 関連社会 資本整備 事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C 効果促進 事業	C-1	①	石井処理分区管渠整備 面整備	150,000	50,000	0	0.0	単独費で施工し事業完了	- 建設課
全体事業費 (A + B + C)				2,516,000	2,840,000	2,305,641	81.2		-

4 今後の方針等

総合的な所見	平成22年度～平成25年度までの4年間で社会資本総合整備計画による公共下水道事業を行い、減額傾向にある交付金に優先順位をつけ計画的に配分し、さらに計画的な整備をおこなうことで定量的指標はほぼ達成することができたが、西坂戸地区管路長寿命化事業については、工事の実施年度が延伸したこと及び平成25年度から創設された整備計画（防災・安全）に引き継いだことから未達成となった。なお、未達成の管渠については、移行先の防災・安全において引き続き整備を促進している。
今後の方針 次期計画 あり・なし	今後も、未普及対策や浸水対策を積極的に進めていくとともに、処理場や既存管渠について長寿命化計画を策定し計画的な改築等に努め、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 また、指標②及び指標④については、平成25年度から社会資本総合整備計画（防災・安全）に移行した為、これ以降は社会資本総合整備計画（防災・安全）にて評価する。

計画の名称	坂戸、鶴ヶ島下水道組合公共下水道事業		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成25年度 (4年間)	交付対象	坂戸、鶴ヶ島下水道組合

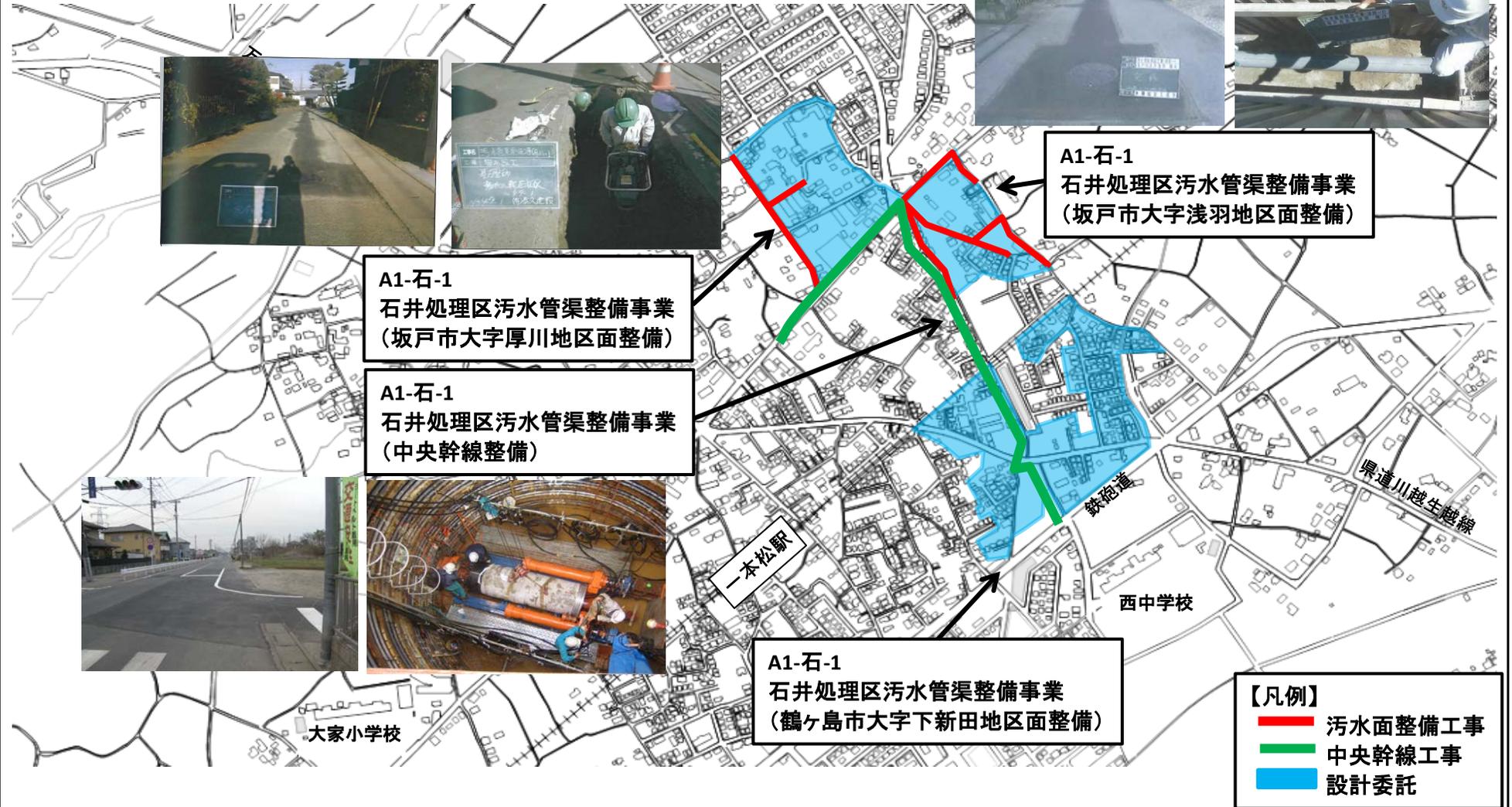
【中央幹線】



【凡例】
— 中央幹線工事
— 設計委託

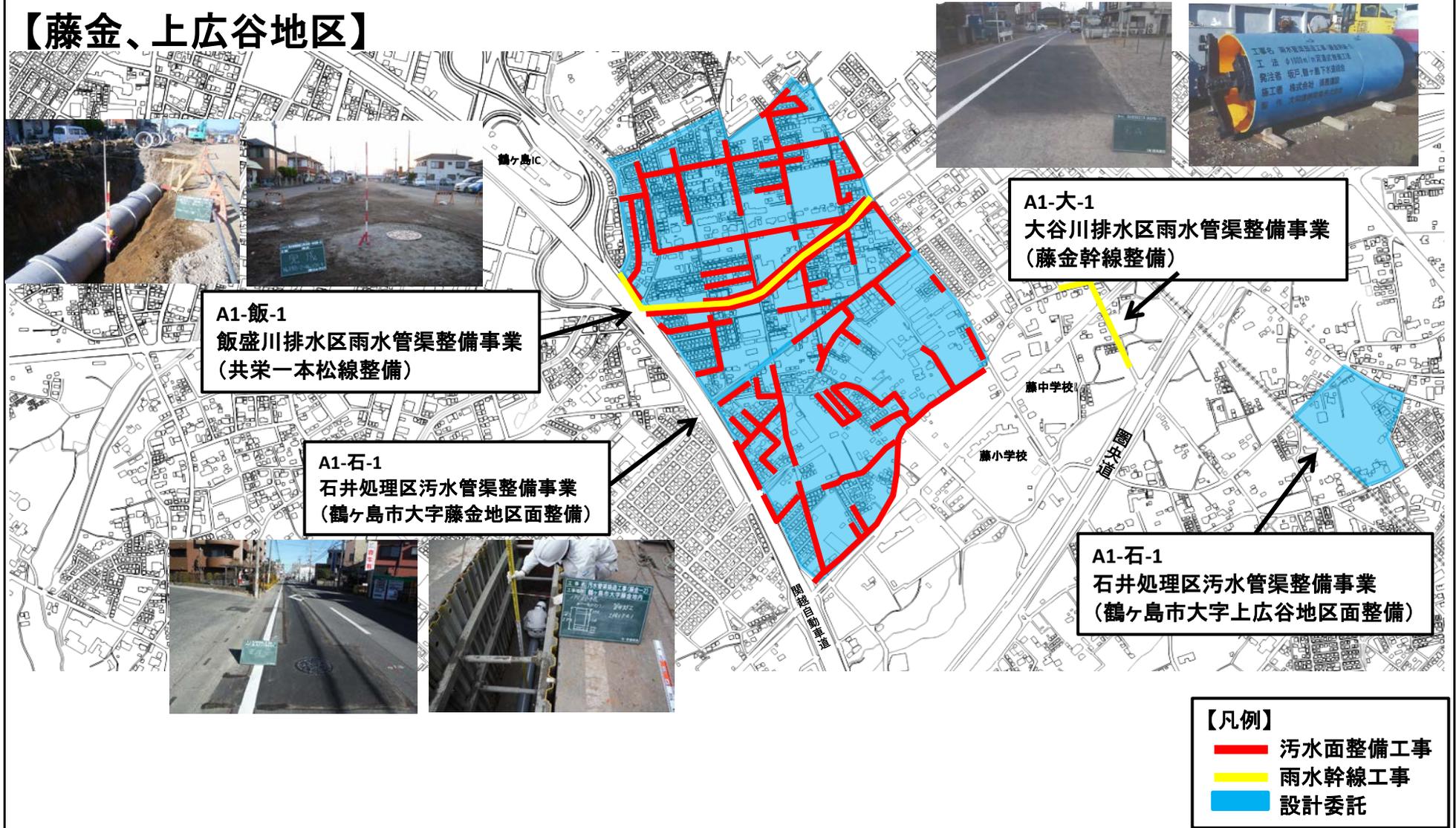
計画の名称	坂戸、鶴ヶ島下水道組合公共下水道事業	
計画の期間	平成22年度 ~ 平成25年度 (4年間)	交付対象 坂戸、鶴ヶ島下水道組合

【浅羽、厚川、下新田地区】



計画の名称	坂戸、鶴ヶ島下水道組合公共下水道事業	
計画の期間	平成22年度 ~ 平成25年度 (4年間)	交付対象 坂戸、鶴ヶ島下水道組合

【藤金、上広谷地区】



- 【凡例】**
- 汚水面整備工事
 - 雨水幹線工事
 - 設計委託

計画の名称	坂戸、鶴ヶ島下水道組合公共下水道事業	交付対象	坂戸、鶴ヶ島下水道組合
計画の期間	平成22年度～平成25年度(4年間)		

【西坂戸地区管路長寿命化事業】

